





# 議会質問

梶原ときよし

6月議会  
一般質問より抜粋

2022年  
6月28日

## 市内電車・バス・フェリーの シルバーパスを実施して、 公共交通利用促進を図れ!!

高齢者の移動手段支援を含め、公共交通の利用促進と公共交通政策の充実を官民連携で図るために、シルバー優待パスの実施または、料金割引などの行政支援を行うべきではないか。

### 梶原議員の質問

昨年、本市内4路線の生活交通バス路線が廃止になったが、これを認めた本市の地域公共交通会議の議事録を見ても、初めから路線廃止ありきで、確実な見通しがないまま代替交通事業への転換が提案されていた。

①いきなり生活交通バス路線の廃止を提案され戸惑う地区住民の意見にもあったが、どうしていきなりなのか。少なくとも数年前に赤字の現状と対策の相談を関係する路線の地域住民に行うべきではなかったのか。  
②今後において、路線廃止の提案がなされる場合、行政と事業者は事前に路線の現状と路線廃止への流れ及び廃止回避に向けての展望を含め、関係地域との協議を義務付けるべきだと思うがどうか。

### 都市整備部長の答弁

関係地域との協議についてですが、義務付けは困難だと考えていますが、今後も、今回の路線廃止のように廃止届を出すことのみで進めるのではなく、行政と事業者が地域に足を運び、説明・協議しながら、検討を進めていけるよう取り組んでいきたいと考えています。

バス路線の廃止を決めてから説明するのはなく、まずは廃止回避に向けた沿線住民との協議を行政責任で行うべきではないのか。

### 梶原議員の質問

「高齢者の社会参加を助長し、もって高齢者の福祉の向上を図る」として、全国の主要都市でシルバーパスや敬老優待事業という名称で指定の交通機関が僅かな負担で自由に乗り降りできる制度を作っている。東京都では何と100万人以上の高齢者が利用し、その満足度は95・8%（2018年調査）に達している。  
①市長は交通弱者といわれる高齢者の社会参加を促す政策（シルバーパス等）を行うつもりはないのか。

②私が本議会で何回追っても、市長は高齢者優待事業を拒否してきたが、高齢者の移動を促す本事業を行なうことで発生する多面的な効果をどう理解しているのか。社会貢献、医療費軽減、国保料減額、地球温暖化対策、交通事故減少、商店街・温泉、島しょ部の活性化などの視点をに入れて示せ。

### 社会福祉担当部長の答弁

公共交通機関のシルバーパスや料金割引等は、高齢者の社会参加を支援することで、健康づくりや生きがいづくりにもつながると認識していますが、多額の経費を要することから、現時点で実施は困難であると考えています。

また、シルバーパス等が、多面的にどのような効果を与えるかは、推計が困難であり、効果をお示しすることは難しいと考えています。

既に全国でシルバーパスの経済効果を含め多面的効果の大きさは実証されており、「多額の経費を要するから困難」としか答えない市長では話になりません。  
いいかげん真面目に市政を行ってほしい!!

### 梶原議員の質問

関連で伊予鉄バスが本市内に設置しているバス停は1000か所に及ぶと聞くが、そのうち道路幅や歩道などの幅員が充分あるバス停にはベンチを設置していくべきと考えるが、本市が

放流同意金徴収は、  
違法な慣習であり、  
改めさせるべきではないか。

建築確認申請に伴う、浄化槽設置と排水放流同意の問題について、本市では、いまだに法的根拠のない「放流同意金」を土地改良区などが建築主から徴収しているが、違法な慣習でありやめさせるべきではないか。

### 梶原議員の質問

放流同意は、国が1988年以降、「違法な慣習」として全国の自治体に解消を求めたものであるにもかかわらず、本市では、いまだにほとんどの土地改良区などで「放流同意金」の徴収が行われている。

①2020年と2021年の2年間に建築主から徴収された同意金の総額と件数を開示せよ。  
②市長は暗黙の了解と勝手に解釈をしているのではないか。現状認識を問う。

### 開発・建築担当部長の答弁

まず、建築主から徴収された同意金の総額と件数についてですが、把握していません。次に、現状認識についてですが、「放流同意」と及び「放流同意金」については、把握する立場にありません。

ベンチ設置に積極的に動くべきではないかと思うがどうか。

### 都市整備部長の答弁

ベンチの設置は、バス利用者の利便性の向上につながると思いますが、一方で、適切な維持管理のほか、歩行者や車両の安全性の確保、道路管理者との協議調整、沿線地権者との調整など様々な検討課題があることから、今後、調査研究していきたく考えています。

ベンチの無いバス停で苦勞しているのは（高齢者を含めハンディキャップのある）利用者であり、設置要請がある所には即刻対応する必要がある。

調査研究ではなく、可能なバス停から設置に向けて協議していくべきではないか。



梶原ときよし(新風会)  
2010年の初当選以来13年目、全定例市議会49議会連続登壇を続けています。(連続登壇記録更新中)

元々、建築確認通知書に放流同意書の添付を義務付けた事で「放流同意金」の徴収が始まり、同意書が不要とした後も未だに続いている。  
つまり行政がつくりだした違法な慣習であり、行政責任でやめさせなければなりません。



### 梶原議員の質問

最高裁判所は2019年、し尿を流している一般家庭に対し、水路を維持管理する土地改良区が排水を禁止することはできず、よって使用料の支払いを強制することはできないと裁判官全員一致の判決を下したが、市長はこの判決をどのように捉えたのか。

また、これ以降に本市の土地改良区などに放流同意金の徴収をしないようにとの働きかけを行ったのか。

### 開発・建築担当部長の答弁

個々の裁判事例については、お答えする立場にないと考えています。また、土地改良区などへの対応については、働きかけを行う立場にはありません。次に、慣習等については把握する立場にありません。

水路を管理する権限は、自治体であり、松山市がその水路の維持管理を土地改良区等に依頼している以上、違法な慣習を放置する事は許されせん!!

本市職員の「身だしなみモデル」は、ハラスメント防止の観点から見直しが  
必要ではないか。

### 梶原議員の質問

本市が男性職員に対し強制している夏季以外のネクタイ着用を通年で自由化してはどうか。

### 野志市長の答弁

現在、実施に向けて検討しています。

### 梶原議員の質問

市長が遵守を求めている職員の「勤務時間中の身だしなみモデル」の中身には、フレキシブルな働き方を推進しようとしている社会の流れに抵抗するかのこき悪しき昭和の臭いがしてならない。しかも、総務部長室前の廊下に大きく貼り出している始末。今とき中学校でもやらないような事務通達の押しつけか、権力誇示なのか分からないが、情けないと言いたい。

- ①髪、「意図的に染めることは不可。白髪染めは地毛の色で。」
- ②爪、「マニキュア等は透明または透明に近いものを。」
- ③スカート、「ミニスカートは不可。」



結婚指輪以外の装飾品は身につけない。  
7月6日(水) TBSテレビ「Nスタ」

### 庁内雑音のヒトコマ

職員 A(独身) 「既婚者は指輪を付けてもいいが、独身はダメ」という規定はやバイですよネ! まさに、ドクハラです!!

職員 B(既婚) 今の「身だしなみモデル」の規定を決めたのは、あの男性部長でしょう~ 自分の理想の女性像を職員に求めたのでは!? 女子から嫌われますよネ! 気持ち悪~

梶原議員 今時、中学校でもやらない「職員身だしなみモデル」の貼り紙とは、情けないですね。職員を信用していない証拠です。徳島市のように「清潔感があり、不快感を与えない服装」と通知することで充分では!! (庁舎本館 2F のロビーに未だに貼ってます)

「未婚者には装飾品を身につけさせない。結婚していないければ指輪を付けてはいけない」という規定は、未婚者に対するハラスメントではないか? と質問しているのに答えない。

### 総務部長の答弁

④装飾品 「結婚指輪以外の装飾品は身につけない。」  
以上4点の表現や強制には、昔の男性の発想と視点で作成されていることが否めないだけでなく、未婚者には装飾品を身につけさせない規定はハラスメントではないのか。説明と見直しを求める。

装飾品は公務職場でふさわしいとはいえないため、身に付けないよう示すことはハラスメントとは考えておらず、見直しは考えておりません。